

10 地域資源を生かした肉用牛経営体の育成

【成果の要約】

- 1 トランスバーラの植付研修会や新規栽培者への重点指導の結果、新規栽培者数が増加した。(R 5 : 43戸→R 6 : 60戸)
- 2 長期未受胎牛の淘汰更新を進め、分娩間隔の短縮が図られ母牛繁殖率が向上した。(R 5 : 400日→R 6 : 394日)
- 3 良質堆肥生産や耕畜連携に関する研修会を開催し、自家産良質堆肥生産による自給粗飼料生産や堆肥の耕種農家への供給等が図られるようになった。

1 対象

和泊町和牛振興会 1 3 4 戸
 知名町畜産振興会 4 7 戸
 与論町和牛改良組合 2 6 0 戸

2 課題を取り上げた理由

- (1) 肉用牛子牛価格の低迷、飼料費高騰の中、生産牛農家の経営状況は厳しく、経営基盤確立には、自給粗飼料の生産拡大による購入粗飼料費の低減が求められている。
- (2) 売上金額増加のためには、子牛出荷数増加が必要で、母牛繁殖率、子牛商品性の向上、熱中症予防に努める必要がある。
- (3) 家畜ふん尿の良質堆肥化が不十分で、有効活用ができていない。

3 活動内容と成果

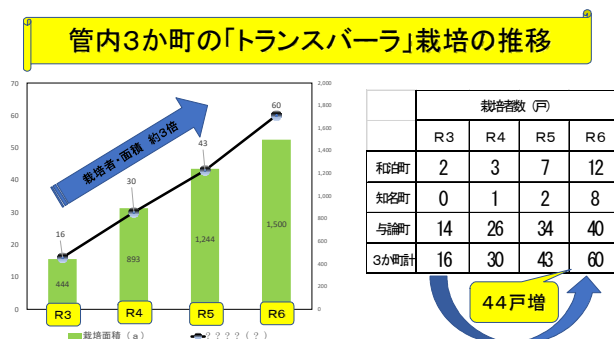
- (1) 自給粗飼料生産技術向上

ア トランスバーラ面積拡大に向けた支援

3 か町の苗供給ほ場での現地研修会や、栽培方法のネット配信、栽培暦の配布等により、令和5年度に43戸であった栽培者が、17戸増加の60戸と飛躍的に栽培者が増加した。



現地研修会（知名）



新規栽培者への重点指導（和泊）

イ 新規栽培者への重点指導

新規就農者に対して、トランスバーラ栽培を進め、関係機関（各島技連会畜産部会）一体となって、植付指導を行った結果、良質な粗飼料生産が進むとともに、部

会員のスキルアップにつながった。

(2) 飼養管理技術の向上

ア 暑熱対策推進

セリ前研修において、細霧装置メーカー協賛での暑熱対策研修会や、家畜市場の屋根石灰乳塗布を行うなど暑熱対策を推進した。

イ 繁殖率向上支援

関係機関で、毎月1回技術改善が必要な農家を巡回指導し、長期未受胎牛の淘汰更新を進めた結果、分娩間隔が短縮し、母牛繁殖率が向上した。(R5:400日→R6:394日)

ウ 子牛飼養管理技術向上支援

新規就農者等を定期的に巡回指導で、子牛育成マニュアルに基づく飼養管理指導を行い分娩後3か月間における飼養管理の重要性の認識が高まり、技術改善が図られつつある。



家畜市場牛係留所での細霧冷房の実演



家畜市場屋根の石灰乳塗布

(3) 家畜排泄物の適正処理

家畜排泄物の適正処理のため、両島での良質堆肥生産や耕畜連携に関する研修会を開催し、自家産良質堆肥生産による自給粗飼料生産や堆肥の耕種農家への供給等が図られるようになった。



与論町での耕畜連携研修会



耕畜連携ほ場への堆肥散布（与論町）

4 今後の課題

- (1) トランスバーラの面積拡大と基幹草種「ローズグラス」の適期収穫推進
- (2) 肉用牛経営改善のため、より一層の母牛、子牛の飼養管理改善
- (3) 堆肥舎の効率的利用による良質堆肥生産と、耕畜連携の推進

5 担当した普及職員（○印はチーフ）

○大久保剛，満吉俊也